

亜硝酸リチウム配合ポリマーセメント系鉄筋防錆材

アルカードP防錆ペースト

アルカードP防錆ペーストはセメント系粉体に亜硝酸リチウム及びエポキシ・アクリル系エマルジョンを配合した鉄筋防錆材です。亜硝酸イオンによる化学的作用と、エポキシ・アクリル系エマルジョンの成膜による物理的作用により優れた鉄筋防錆効果を発揮します。

特長

- ▶ マクロセル腐食を抑止する、浸透・拡散型の防錆剤である亜硝酸リチウムを配合しています。
- ▶ エポキシ・アクリル系エマルジョンの成膜が、気体の透過や液体の浸透を抑制する物理的防錆効果をもつため、長期に渡り鉄筋の腐食を抑制します。
- ▶ エポキシ・アクリル系エマルジョンが鉄筋やコンクリートとの付着性を高めます。
- ▶ NEXCO鉄筋防錆材品質規格に適合しています。

用途

- コンクリート構造物の鉄筋防錆（ポリマーセメント系）

配合及び材料使用量

施工方法	粉体	AP混和液		水	積算比重	m ² 使用量 ^{※1}
		主剤	硬化剤			
ハケ塗り	10kg	3kg	1.5kg	0～0.3kg	1.65	1.65kg
吹付け	10kg	3kg	1.5kg	0.2～0.5kg	1.55	1.55kg

- アルカードP防錆ペーストの鉄筋への塗布量(1mm厚、実質塗布量^{※2})

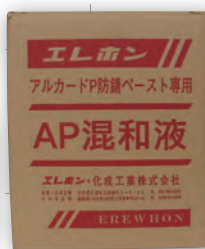
鉄筋 呼び径 (D) (mm)	鉄筋 表面積 (m ² /m)	塗布量 (kg/m)
10	0.032	0.064
13	0.041	0.082
16	0.051	0.101
19	0.060	0.119
22	0.070	0.139
25	0.079	0.157
29	0.092	0.183
32	0.101	0.200
35	0.110	0.218

※1 理論塗布量：膜厚を一定とした場合に必要な塗布量

※2 実質塗布量：理論塗布量 × 1.2

- 荷姿(14.5kgセット)

・粉体 10kg ・主剤 3kg ・硬化剤 1.5kg



施工要領

- ① 鉄筋をケレンし、錆を落とす。
- ② コンクリート面にアルカードP防錆ペーストを塗布する場合は、コンクリート面にAP混和液を塗布する。AP混和液は1時間以上乾燥させる。(AP混和液 配合比 主剤:硬化剤=2:1, 塗布量 150g/m²)
- ③ アルカードP防錆ペーストを混練し、塗布する(約1mm厚)。
 - ・主剤及び硬化剤を先に攪拌し、粉体を加えさらに攪拌して下さい。
 - ・規定内の水量で作業性を調整して下さい。
 - ・攪拌には高速攪拌機を使用して下さい。
- ④ アルカードP防錆ペーストが硬化した後、断面修復材を塗り付ける。

塩水噴霧10日後



上：アルカードP防錆ペースト塗布
中：ポリマーセメントペースト塗布
下：無塗布

性能

●東日本・中日本・西日本高速道路株式会社 構造物施工管理要領 鉄筋防錆材の性能照査項目 (試験実施機関:(財)日本塗料検査協会)

試験項目	基準値	結果
防せい性試験	処理部 防せい率 50%以上	98%
	未処理部 防せい率 -10%以上	24%
鉄筋に対する付着強さ	7.8N/mm ² 以上	9.7N/mm ²
耐アルカリ性	塗膜に異常を認めないこと	塗膜に異常を認めない

●コンクリートとの付着力(試験方法:建研式)

材 齢	接着強度(N/mm ²)	
	湿潤面	乾燥面
3日	2.0	2.1
28日	2.6	2.6

●透水試験(試験方法:JISA1404)

試験水圧・時間	透水量(g)	
	無塗布モルタル	塗布モルタル
0.3MPa×1時間	82.7	0.5

無塗布モルタル:普通モルタル(S/C=2)

塗布モルタル:普通モルタルにアルカードP防錆ペーストを1mm塗布

注)上記は当社実験室で試験を行った結果であり、品質保証値ではありません。

● 使用上の注意

- ・ご使用に際してはSDS(安全データシート)をよく読んで下さい。SDSの入手は購入先にご依頼下さい。
- ・取り扱い時は、保護手袋、保護眼鏡、防塵マスク等の適切な保護具を着用して下さい。
- ・AP混和液には亜硝酸リチウムが配合されています。**亜硝酸リチウムはpH6以下で不安定になり有害なNOxが発生しますので酸性物質との接触は避けて下さい。**
- ・製品は直射日光、湿気を避けて5～35℃で保管して下さい。
- ・結露により硬化不良を起こすことがありますので、結露が考えられる場合は通風等の結露防止策を行って下さい。
- ・施工・養生中に5℃以下になることが考えられる場合は、採暖を行って、施工・養生温度を5℃以上に保って下さい。
- ・練り水は水道水水質と同等のものを使用して下さい。
- ・一度練った材料の練り返しは絶対にしないで下さい。(物性が低下します)
- ・目に入った場合は直ちに水で15分以上注意深く洗い、眼科医の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合は多量の水と石鹸で洗浄し、湿疹や炎症の兆候が見られる場合は医師の治療を受けて下さい。
- ・廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して下さい。

お願い

AP混和液硬化剤は、誤飲事故防止のため薄緑色に着色されていますが、時間の経過とともに着色剤が徐々に退色し、淡黄色に変化することがあります。硬化剤としての性能には影響ございませんのでそのままご使用下さい。

● 本資料について

- ・本資料の技術情報は、当社の試験・研究に基づいたもので、信頼しうる情報と考えられます。しかし、記載の諸性能および特性などは、施工条件などにより本資料と異なる結果を生じることがあります。
- ・本資料の記載事項は予告なしに変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

代理店



特殊セメントの分野を大きくリードする

エルホン・化成工業株式会社

EREWHON

<https://erewhon.co.jp>

●本社・工場	〒870-0141	大分県大分市三川新町1-2-23	TEL (097) 552-2251	FAX (097) 552-2213
●いわき工場	〒979-3112	福島県いわき市小川町上平字中平30-3	TEL (0246) 83-2600	FAX (0246) 83-2677
●大阪支店	〒532-0003	大阪府大阪市淀川区宮原5-1-3	TEL (06) 6842-7500	FAX (06) 6842-7544
●福岡支店	〒814-0151	福岡県福岡市城南区堤1-9-10	TEL (092) 874-6990	FAX (092) 862-6398
●関東支店	〒224-0003	神奈川県横浜市中区中川中央2-5-13-3F	TEL (045) 534-9656	FAX (045) 534-9657
●仙台支店	〒984-0012	宮城県仙台市若林区六丁の目中町6-2	TEL (022) 287-7221	FAX (022) 287-7222
●名古屋支店	〒463-0048	愛知県名古屋守山区小幡南3-5-21	TEL (052) 758-1889	FAX (052) 758-1890
●札幌営業所	〒007-0805	北海道札幌市東区東苗穂5条3-2-32	TEL (011) 786-6051	FAX (011) 786-6052
●新潟営業所	〒950-0963	新潟県新潟市中央区南出来島1-10-23	TEL (025) 280-9282	FAX (025) 283-6262
●静岡営業所	〒422-8058	静岡県静岡市駿河区中原743-1-1F	TEL (054) 270-9380	FAX (054) 270-9381
●北陸営業所	〒920-0027	石川県金沢市駅西新町2-11-25	TEL (076) 204-9417	FAX (076) 204-9418
●広島営業所	〒739-1731	広島県広島市安佐北区落合2-41-22	TEL (082) 841-2350	FAX (082) 841-2360
●熊本営業所	〒861-8045	熊本県熊本市東区小山2-14-47	TEL (096) 237-6557	FAX (096) 388-6227
●鹿児島営業所	〒890-0082	鹿児島県鹿児島市紫原1-51-25	TEL (099) 284-0533	FAX (099) 284-0535
●株式会社・技研本社	〒781-0270	高知県高知市長浜5226-13	TEL (088) 805-2332	FAX (088) 841-2322
●株式会社・技研松山営業所	〒791-8042	愛媛県松山市南吉田町1450-6	TEL (089) 974-8225	FAX (089) 974-8230